

今、教育委員は！

平成 27 年 6 月
教育委員 青柳 淳

この 5 月から、教育委員になりました。どうぞよろしく願いいたします。

【人の子を賊（そこな）ふ】

学校で教えていた頃、保科百助の「かの人の子を賊（そこな）ひたる事少なからず」、との言葉をみて、ドキッとしました。自分が教えたことにより、他人の子を害した、との自戒の言葉です。保科百助は、現在の立科町出身の人です。明治時代、鉱物学を通して、長野県教育界に大きな足跡を残しました。佐久では、立科の小学校の校長をしています。

子どもたちは、基本的には、学ぶことを喜びとしています。ですから、教えるのはとても楽しいことです。でも、教えることに溺れて、人の子を害していないか、いつもそんな自戒が必要なような気がします。

【教育委員会の動き】

1 子どもたちの学力は今

本年 1 月、市内のすべての小中学校において、教研式 C R T 標準学力検査が行われました。小学校 4～6 年、中学校 1～3 年で実施されました。小学校では国語・算数・理科、中学校では国語・数学・理科・英語です。

結果については、5 月 18 日に公表してあります。大まかにいうと

【国語】【英語】全国とほぼ同じ水準にある。

【算数・数学】【理科】全国をやや下回っている。

ということになります。そもそも学力とは何かという論議はありますが、標準学力検査において得点できる学力を子どもたちにつけてやるということは、やはり大切なことであると思いま

す。今後の方向としては、次の3点を大事にしながら、学習力の向上を図りたいと考えています。

- ・学習への「関心・意欲」を高める授業実践を
- ・つまづいている子どもへの細やかな支援を
- ・教科性を大事にした指導を学んで力を伸ばしたいという、子どもたちの願いに応えられる学校でありたいと思います。



2 学校給食応援団がんばれ

学校給食白田センターでは、食材の地産地消をめざしています。そのために、地元の業者、農家とともに学校給食応援団を組織しています。本年度は、6月26日に設団式が行われました。

佐久市産の農作物については、多少高価でも落札するという方向をとっています。

しかし、そのことが逆に、市内業者の競争を生み出し、比較的安価な納品につながるという効果をもたらしています。平成26年度実績で、農作物の約13%が、学校給食応援団からの納入となりました。

3 人権研修を大切に

佐久市新任・転任教職員人権同和教育研修会が、5月11日・29日に市役所で開催されました。市内の新任・転任教職員127名が参加しました。

メインは、人権同和教育推進員平岡洋明氏の「教科書の中の部落史」の講演でした。新たに佐久市にやってきた教職員が、地域の人権状況について学び人権教育について考える重要な機会となっています。

参加者の感想は、「人が人を差別するということがどういうことか、差別は自分達が作ったものであり、それをなくせるのも自分達の力によるものと改めて考えさせられた」「久しぶりの研修だったが考えを改めることができよかったです」と思います」などです。

人権研修の機会を確保し人権感覚を磨き続けることの大切さを、再認識する機会となりました。

4 小学校音楽会の歌声伸びやか

6月19日を中心に、各小学校で、校内音楽会が開催されました。

私は、野沢小、臼田小に出席しました。子どもたちは、ごく自然に規律正しく行動していました。そして伸びやかに合唱し、力と心を合わせて合奏していました。音楽って素晴らしいなあ、日々の生活に潤いを与えてくれるものだなあと、改めて感じさせられました。特に、合唱部の児童がリーダーとなって、各クラスの合唱のレベルを引き上げているのだということを痛感しました。

さらに、6月24日には、佐久市小学校合同音楽会が、コスモホールにおいて開催されました。各校の6年生が、合唱の腕前を披露してくれました。

荻原周子先生は、「素晴らしい歌声でした。伴奏も素晴らしい。三部合唱に挑戦した学校があることは、特筆すべきことです。」と講評しました。そして、今後さらに伸びていくために、次の3点を強調しました。



- ・とにかく一生懸命歌うこと
- ・相手にどう伝えるか言葉を大事にすること
- ・曲想については、強くするところ、弱くするところなどに気を付けて歌うこと

このアドバイスを大切にしながら、高い水準にある佐久市内小学校の合唱が、さらに伸びていくことを期待したいと思います。